

平成25年度全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会（第8回）

アンケート結果

		参加者数	回答者数	回収率
今年度	1日目	208人	83人	39.9%
	2日目	344人	74人	21.5%
	3日目	287人	91人	31.7%
昨年度	1日目	180人	117人	65.0%
	2日目	438人	118人	26.9%
	3日目	438人	124人	28.3%

※一般参加者にはアンケートを配布していないので、参加者数には含めていない。

※1日ごとにアンケートを回収したため、1人が複数のアンケートを提出している場合もある。

1日目のアンケート

1 大学入試センターセミナー（人口減少期のセンター試験と受験出願動向の実相）について

(1) 内容について

	よかった	どちらとも言えない	改善すべき点がある	無記入
今年度	65人 (78.3%)	17人 (20.5%)	1人 (1.2%)	0人 (0.0%)
昨年度	60人 (51.3%)	37人 (31.6%)	18人 (15.4%)	2人 (1.7%)

(2) 進行について

	よかった	どちらとも言えない	改善すべき点がある	無記入
今年度	51人 (61.4%)	26人 (31.3%)	6人 (7.2%)	0人 (0.0%)
昨年度	54人 (46.2%)	47人 (40.2%)	13人 (11.1%)	3人 (2.6%)

(3) 今回のセミナーをお聞きになったの御感想、次回開催された場合の希望されるテーマ及び改善すべき点等ご意見がありましたら、お聞かせください。

- ・全体像や地域の特性が分かった点は良かったが、現状の問題点をとりあげてほしい。(国立・教員)
- ・今後も各種の統計分析の積極的な公開・提供を希望します。(国立・事務職員)
- ・各県のデータを公表し、各大学に文書又はURL通知にてご教示頂ければ大変助かります。(国立・事務職員)
- ・大学入試センター発表者の資料は、別途多くのを付けて頂けると資料としての価値が高まると思う(所属不明・教員)
- ・情報共有したデータの分析結果の活用についての提案、例示等があればよかった。(所属職種不明)
- ・センター試験データ分析(今回のような詳細な分析は価値があり、お聞きしたいです)(国立・教員)

- ・センター試験運営の仕組みと問題点（作題・実施・情報提供から予算まで意思決定も含めレクチャーしていただけるとありがたいです。センター試験を安定的に運営するために求められることとは？）（国立・教員）
- ・これから更なる人口減少が予想される中で、センター利用動向や国公立受験がどの様に変化するのか予想・予測&分析できる様であればお願いしたい。（公立・教員）
- ・入試問題について新高校学習指導要領と入試問題の内容変更について（私立・事務員）
- ・地域特性の分析は、地元大学にとって興味深く、参考になった。他県出願については、どこへ出願する傾向（近隣が首都圏など）があるか、また、逆の立場で他県から出願される大学、県は傾向があるか（所属職種不明）
- ・もう少し質疑の時間を取って欲しい。（国立・教員）
- ・昨年の討論会もそうであったが、タイムキーピングを厳格にすべき。（国立・教員）
- ・講演を1つにして、もっと詳細な内容を知りたい。（所属不明・事務職員）

2日目のアンケート

1 平成25年度大会について

(1) 運営について

	よかった	どちらとも言えない	改善すべき点がある	無記入
今年度	60人 (81.1%)	10人 (13.5%)	3人 (4.1%)	1人 (1.4%)
昨年度	77人 (65.3%)	26人 (22.0%)	14人 (11.9%)	1人 (0.8%)

(2) 日程について

	よかった	どちらとも言えない	改善すべき点がある	無記入
今年度	62人 (83.8%)	12人 (16.2%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
昨年度	98人 (83.1%)	19人 (16.1%)	1人 (0.8%)	0人 (0.0%)

(3) 開催地について

	よかった	どちらとも言えない	改善すべき点がある	無記入
今年度	60人 (81.1%)	12人 (16.2%)	2人 (2.7%)	0人 (0.0%)
昨年度	45人 (67.2%)	20人 (29.9%)	0人 (0.0%)	2人 (3.0%)

(4) 大会について、改善すべき点等意見がありましたらお書きください。

- ・終了時間を16:30にして頂きたい。帰路についての時間的な問題。（国立・事務員）
- ・討論時間をもっと長くって欲しいと思いました。（公立・教員）
- ・5月が都合がよい。（私立・事務職員）

- ・ベネッセでは私学の話しか出来ないなので、せめて河合か駿台に変えて欲しい。(国立・教員)
- ・テーマの論点からブレた討論になっていたように感じた。(国立・教員)

2 企画討論会（入試における評価尺度の多元化を考える）について

(1) 内容について

	よかった	どちらとも言えない	改善すべき点がある	無記入
今年度	58人 (78.4%)	4人 (5.4%)	4人 (5.4%)	8人 (10.8%)
昨年度	68人 (57.6%)	28人 (23.7%)	10人 (8.5%)	12人 (10.2%)

(2) 進行について

	よかった	どちらとも言えない	改善すべき点がある	無記入
今年度	50人 (67.6%)	12人 (16.2%)	4人 (5.4%)	8人 (10.8%)
昨年度	36人 (30.5%)	29人 (24.6%)	40人 (33.9%)	13人 (11.0%)

(3) 今回の討論をお聞きになってのご感想、次回開催された場合の希望されるテーマ及び改善すべき点等ご意見がありましたらお聞かせ下さい。

- ・コストの点をもう少し知りたかった。(国立・教員)
- ・国際教養大とその他の大学で、体制に決定的な差があることが感じられた。現在日本で求められている入試制度を、国際教養大では既に実行に移していると思った参加者は多いのではないかと。その体制の差がどこにあるのか、国際教養大以外の大学がどのようにして入試制度を実行に移していくのかについてももっとつっこんだ議論をやっていただきたい。(公立・事務員)
- ・テーマで掲げている内容とサブテーマで話された内容がズレていて全体としてのコーディネーションの悪さが目立つ。「入試の評価尺度」をどのように多元的しているのか、していくつもりなのかを話してもらわないとテーマに即した議論が成り立たない。(所属職種不明)
- ・一般入試における評価尺度の多元化の工夫 (国立・教員)
- ・大学入学時の基礎概念に関する調査 例：公文式の問題を使った理解度 (小中レベルの検討) (所属職種不明)
- ・会場から多くの質問が寄せられたと思うが、もっと時間を割いて丁寧に説明してほしかった。討論会と銘打っているのであるから、会場の参加者ともっと討議できればと思う。“白熱教室”方式が面白いのではないかと。(所属職種不明)

3 公開討論会について（受験対策学習ばかりを助長しない入試改革や教育改革について）

(1) 内容について

	よかった	どちらとも 言えない	改善すべき 点がある	無 記 入
今年度	43 人 (58.1%)	24 人 (32.4%)	2 人 (2.7%)	5 人 (6.8%)
昨年度	77 人 (65.3%)	25 人 (21.2%)	2 人 (1.7%)	14 人 (11.9%)

(2) 進行について

	よかった	どちらとも 言えない	改善すべき 点がある	無 記 入
今年度	49 人 (66.2%)	16 人 (21.6%)	3 人 (4.1%)	6 人 (8.1%)
昨年度	83 人 (70.3%)	16 人 (13.6%)	2 人 (1.7%)	17 人 (14.4%)

(3) 今回の討論をお聞きになってのご感想、次回開催された場合の希望されるテーマ及び改善すべき点等ご意見がありましたらお聞かせ下さい。

- ・受験産業の方、しかも1社をパネリストに呼ぶのは問題があると思います。巧みに自社の宣伝をされていましたが、発表内容には相当に問題がありそうです。(国立・教員)
- ・議論がかみ合っていない。論点を焦った方がよい。(所属職種不明)
- ・今回のテーマはまだ未解決な部分も多いので引き続き検討していただければと思います。(国立・教員)
- ・センター試験に代わる学習到達度試験のあり方について大学×高校のディベートを聞いてみたい。(国立・事務員)
- ・進学校における多様な入学者選抜への対応（進路指導）(国立・事務員)
- ・内容により異なるが、今回の場合、質問に対する回答の時間がもう少し欲しかった。(所属職種不明)

3日目のアンケート

1 平成25年度大会について

(1) 運営について

	よかった	どちらとも 言えない	改善すべき 点がある	無 記 入
今年度	72 人 (79.1%)	15 人 (16.5%)	1 人 (1.1%)	3 人 (3.3%)
昨年度	101 人 (81.5%)	15 人 (12.1%)	1 人 (0.8%)	7 人 (5.6%)

(2) 日程について

	よかった	どちらとも 言えない	改善すべき 点がある	無 記 入
今年度	77人 (84.6%)	9人 (9.9%)	2人 (2.2%)	3人 (3.3%)
昨年度	104人 (83.9%)	15人 (12.1%)	1人 (0.8%)	4人 (3.2%)

(3) 開催地について

	よかった	どちらとも 言えない	改善すべき 点がある	無 記 入
今年度	70人 (76.9%)	14人 (15.4%)	3人 (3.3%)	4人 (4.4%)
昨年度	90人 (72.6%)	28人 (22.6%)	1人 (0.8%)	5人 (4.0%)

(4) 大会について、改善すべき点等意見がありましたらお書きください。

- ・一つ一つの発表時間が短く、説明が駆け足となって消化しにくい。質疑応答ももっと時間を割けばより議論が深まるのではないか。そのような意味でセッション当たりの発表者数を減らして持ち時間を増やすべきだと思う。セッション数を増やすなどして対応して頂きたい (所属職種不明)
- ・関西地区など、大学の地区ごとの発表が欲しい (所属職種不明)
- ・企画セッションと第4、第5セッションの開始時間を同じにしてもらいたい。(所属職種不明)
- ・もう1日、日程があっても良かったと思います。(私立・事務員)
- ・会場が主要駅から遠い。各セッションの発表者、司会者とも発表時間の管理がだめ。(所属職種不明)
- ・関西でも開催して欲しい。(私立・事務員)
- ・大変申し訳ありませんが、毎年東京実施が有難いです。(私立・事務員)
- ・学部、研究科に所属する教員にとって、平日2日を空けることは多くの授業を休講にする必要があります。近年は休講にした場合、補講を伴います。特に私立教員は、この点非常に厳しい状況です。土日開催についてご一考願います。(所属職種不明)
- ・当日プレゼンのパワポを後日見ることが出来るようにしてほしい。(所属職種不明)

2 研究会について

(1) どのセッションに参加されましたか

	企画	第1	第2	第3	第4	第5
今年度	31人	20人	43人	33人	17人	41人
昨年度	63人	35人	31人	70人	34人	21人

(2) 組合せ・順番について

	よかった	どちらとも 言えない	改善すべき 点がある	無 記 入
今年度	53人 (58.2%)	29人 (31.9%)	4人 (4.4%)	5人 (5.5%)
昨年度	77人 (62.1%)	40人 (32.3%)	0人 (0.0%)	7人 (5.6%)

(3) 発表内容について

	よかった	どちらとも 言えない	改善すべき 点がある	無 記 入
今年度	62人 (68.1%)	20人 (22.0%)	4人 (4.4%)	4人 (4.4%)
昨年度	83人 (66.9%)	33人 (26.6%)	3人 (2.4%)	5人 (4.0%)

(4) 発表時間の配分について

	よかった	どちらとも 言えない	改善すべき 点がある	無 記 入
今年度	60人 (65.9%)	15人 (16.5%)	12人 (13.2%)	4人 (4.4%)
昨年度	84人 (67.7%)	13人 (19.4%)	5人 (7.5%)	10人 (14.9%)

(5) 企画セッションについて

	よかった	どちらとも 言えない	改善すべき 点がある	無 記 入
今年度	35人 (38.5%)	11人 (12.1%)	1人 (1.1%)	44人 (48.4%)
昨年度	49人 (39.5%)	20人 (16.1%)	3人 (2.4%)	52人 (41.9%)

(6) 今回の研究発表の中で興味または関心を持ったものがあれば、お聞かせください。

< 第2セッション (入試制度・追跡調査) >

- ・追跡調査 (入学後成績と入試) 推薦入試入学者の方が学力が高い点には驚いた。(私立・事務職員)
- ・コメントなし：所属職種不明1名
- ①「筑波大学「理数学生応援プロジェクト」と入学経路」
 - ・理数学生応援プロジェクトのセッションは、入試制度とそぐわない。学生の研究志向は望ましい方向なの？ (国立・教員)
 - ・コメントなし：国立・事務職員1名、所属職種不明1名
- ③「都心部へのキャンパス移転が志願者数に及ぼす影響について—大学は立地産業なのか—」
 - ・コメントなし：所属職種不明1名
- ④「夜間主・二部学生の現状と課題①—国公立大学の入学選抜、本学独自調査から—」
 - ・コメントなし：国立・事務職員2名、公立 事務職員1名、所属職種不明1名
- ⑤「入学者の大学選択と入学後の適応—山口大学入学者追跡調査データ分析から—」
 - ・コメントなし：公立・事務職員1名、私立 事務職員1名、所属職種不明2名
- ⑥「追跡データを用いた大学生の成績推移の分析」
 - ・コメントなし：国立・事務職員2名、公立 教員1名、所属職種不明2名
- ⑦「6年間の入学時意識変化について—琉大生入学前アンケートに基づくトレンド—」
 - ・コメントなし：国立・教員1名、所属職種不明1名

< 第3セッション (AO・推薦) >

- ・AOは、廃止の方向と感じた。AOを導入した時の目標と比較した検討を聞きたい (所属職種不明)
- ・コメントなし：国立・事務職員2名、公立・事務職員1名、私立・事務職員1名、所属職種不明1名

- ①「医学部医学科におけるAO入試および地域枠入試の導入とその結果」
 - ・地方の目的大学のAO及び地域枠入試に大変興味があった。その中で、資格試験としてのセンター試験の導入と評価が興味深かった。(国立・教員)
 - ・コメントなし：私立・教員1名
- ②「高大接続AO入試を創造する「課題研究」の実践」
 - ・コメントなし：国立・教員1名、所属職種不明1名
- ⑥「大学入学志願者の基礎的学力測定のための予備的検討(1)―設計および「言語運用力」に関する検討―」
 - ・コメントなし：所属職種不明1名
- ⑦「大学入学志願者の基礎的学力測定のための予備的検討(2)―「数理分析力」に関する検討―」
 - ・コメントなし：国立・教員1名、所属職種不明1名
- ⑧「大学入学志願者の基礎的学力測定のための予備的検討(3)―英語問題の内容と受験者の応答の事例分析―」
 - ・コメントなし：所属職種不明1名

<第4セッション(選抜方法・海外比較・特別措置)>

- ・コメントなし：所属職種不明1名
- ①「米国4大学アドミッションズ・オフィス訪問調査」
 - ・コメントなし：私立・教員1名、所属職種不明1名
- ②「韓国大学入学者選抜の変容―入学査定官制導入後の展開状況―」
 - ・コメントなし：私立・教員1名
- ③「大学入学志願手続きのオンライン化の可能性と展望」
 - ・実務面で、(事務軽減という点から)第4セッション「入学手続きのオンライン化の可能性」は今後の研究、実施可能性…深めていってほしいと思いました。(公立・事務職員)
 - ・コメントなし：所属職種不明2名
- ⑤「実質的な「入学者受入れの方針」を定めるために何を見直すか？」
 - ・同じ思いを持っていたので、かなり興味深く報告をききました。(公立・事務職員)
 - ・コメントなし：所属職種不明1名
- ⑥「数学の大学入試問題の日中比較」
 - ・海外の入試制度に触れる機会が無いので、勉強になりました。(私立・事務職員)
 - ・コメントなし：国立・教員1名

<第5セッション(進路指導・広報・特別措置)>

- ・コメントなし：国立・事務職員1名、公立・事務職員1名、私立・教員1名、私立・事務職員1名
- ②「高校生の進路意識と保護者の関与について」
 - ・コメントなし：私立・事務職員1名
- ③「対高校進路指導部広報に関する一考察―多忙化する高校に適した広報活動―」
 - ・データと実態、実例があり、とてもわかりやすかったです。また興味を持ちました。(国立・教員)
 - ・コメントなし：国立・事務職員1名、私立・教員1名、私立・事務職員1名、所属職種不明2名
- ④「入試広報に関する受験生・保護者の動向の検討―新潟大学入学者を対象とした入試広報アン

ケートの分析から一」

- ・高校生の進路選択に“保護者の動向や関与”がとりあげられたこと。入学式，卒業式でも保護者の参加が増加，無視できない要素であることを再認識しました。(国立・その他)
- ・コメントなし：国立・事務職員

⑥「新潟大学のアドミッション・ポリシーの改善に向けて」

- ・コメントなし：公立・事務職員 1名

⑦「文書提示メディアが視覚障害者の大学入試出題相当長文理解に与える影響—音声提示は情報処理速度を改善するか?—」

- ・コメントなし：所属職種不明 1名

<企画セッション（志願者・受験者の動向の分析Ⅱ—入試制度との関連において—）>

- ・企画セッションにおける安野，倉元両氏のお話に感心した。(国立・教員)

①「長期的視点での大学入学者選抜状況とシステム変更との関連」

- ・コメントなし：国立・事務職員 1名

<該当不明>

- ・後期日程廃止の影響の研究は興味深かった。(国立・教員)

(7) 今後どのようなテーマの企画セッションを希望されますか，お聞かせください。

○国立・教員

- ・琉球大の入試時の成績とその後の成績の追跡調査。
- ・入試ミス防止，Web 出願，外国からの志願者の出願資格（各国の教育制度）
- ・RU 大学と地方大学の入試の比較。
- ・センター入試の今後と各大学の個別試験のあり方。

○国立・事務職員

- ・入試における資格試験の導入と入学後の適応。
- ・入試の成績と入学後の成績について，教育関係 GP と大学入学者数の変化について
- ・入試広報のあり方，効果的な手法。

○公立・教員

- ・学生のモチベーションには教員の教育へのモチベーションが大きく関与していると思います。その観点からの研究が必要と考えます。

○公立・事務職員

- ・大学で何を学ぶのか，学ばせるのか。
- ・入試の多様化に対応するために入試制度や試験科目を変更した場合の受験生の動向について。

○公立・その他

- ・国際教養大学様の多様な入試制度。

○私立・事務職員

- ・高校の進路指導の現状について，より詳しく他大学のアプローチ状況を知りたい。広報戦略についても知りたい。
- ・IR，エンrollmentマネジメント，入学者を分析する際の項目やシステム，学内での運営方法といった実務レベルでの課題について

- ・入試制度や現象の歴史研究が中心だったかと思います。そこから何を読み取り政策的な提言につなげるかが肝要かと思います。そのような方向性でのセッションをお願いします。

○所属不明・事務職員

- ・入試広報に特化。

○所属職種不明

- ・入試の改革実施例に関するセッション
- ・初等教育の不完全による中・高等教育の質の低下は日本社会を機能不良にしている。中・高等教育のみでは対応できない。
- ・地方国立大学の入試広報活動の取り組み。

(8) その他、改善すべき点等御意見がある場合は、お聞かせください。

- ・発表時間を大幅にオーバーする発表があった。また発表時間を超過するものが目立った。発表時間の見直しが必要かもしれません。(国立・教員)
- ・時間に対して、発表数が多かったのか、「駆け足」的でした。スライド転換、話のペースが早く、メモができないことが多かった。時間がどれも押していて予定時間オーバーまた、最後の発表テーマを十分に聞けない→遠方から参加していたので飛行機の時間などの関係からあまり良くないと思いました。(公立・事務職員)
- ・時間厳守で進行して下さい。(所属職種不明)
- ・テーマは、発表者が選択できるようにしたほうがよいと思う。タイトルを見て主催者が選んでいるようであるが、セッションでまとまっていないところがあった。(国立・教員)
- ・休憩時に他の会場(セッション)に移動できると良い。(私立・事務職員)
- ・そのテーマが入試制度の改善に資するものか関わるものか疑問に思うテーマもあった。Ex 第4「アドミッションポリシーの違いをもたらす要因」「数学の日中比較」(公立・事務職員)
- ・6月6日の企画討論会の発表内容と重複する研究発表があった。(所属職種不明)

3日間での共通質問

1 次回の平成26年度大会について

御意見、御希望がある場合は、お聞かせください。

○6月5日分

- ・研究会を初日、2日目に行い、それを総括するような形でセンターセミナーを行うことはできないか。初日に「上から目線」のセミナーをやられてしまうと、研究会発表者としては、立つ瀬がなくなるのではないか。(国立・教員)
- ・センター試験の方法や内容の変化に対する問題点など、より、各大学の実務に役立つようなセミナーにしてほしい。(国立・教員)
- ・都内での隔年実施が良いと思います。次年度の日程、会場を早めに設定、連絡いただきたい。(国立・事務職員)

○6月6日分

- ・現在自民党で検討されているような、資格試験の様な制度について考えてほしい。(国立・教員)
- ・入試制度の変化が進むと考えられるので、変化の動向がわかるような情報が得られるとよいと思う。(国立・教員)
- ・「センター試験の功罪」として総括すべきと考えます。(国立・教員)
- ・いっそのこと、大手受験産業をずらりと並べて、受験産業関係者のみのパネルディスカッションを企画されてはいかがでしょう？(国立・教員)
- ・近大や東洋大で行う原則ネット出願で問題点があるかどうか知りたい。(国立・事務職員)
- ・アメリカのように入試には教員がタッチせずに、アドミッションセンターのオフィサーが選考して合格者を決定する。教員は教育、研究に専念するということはいかがですか。(国立・事務職員)
- ・高校の現場の先生（特に進路指導の先生）のお話をもっと聞かせていただきたい。(私立・事務職員)
- ・高等教育を国民の80%程が受ける時代となっています。初等、中等教育の目標を修正するか大学の目標を変更する必要がある。(所属職種不明)
- ・高大連携の具体的取組例の紹介。大学と高校の担当者含めて。(所属職種不明)
- ・地方都市は参加しにくい。(国立・事務職員)
- ・地方での開催をお願いします。(国立・事務職員)
- ・できれば東京またはその近くで開催していただくと参加しやすくなります。(公立・教員)
- ・関西地方での開催希望(公立・事務職員)

○6月7日分

- ・〇〇的な問題を生まれつき持っている受験生を始めとして、退学あるいは断念を余儀なくされる場合が多い。これに対してSPIに近いような試験を入試に導入できないかの検討をお願いしたい。(国立・教員)
- ・今年度海外入試を紹介いただき勉強になりました。より多くご紹介いただくと助かります。(私立・事務職員)
- ・実務的なテーマをお願いします。入学手続き率の分析、予測 etc (私立・事務職員)
- ・セッションを大学の規模別にわけるのがよい。単科大向け、中規模大向け、旧帝大向け etc (国立・教員)
- ・遠方だと出張も気軽にできません。東京で固定してくれると助かります。(国立・その他)
- ・交通の便が良いところをお願いします。(今回は良かったです。)(公立・事務職員)
- ・ぜひ土日開催をご検討願います。多くの学会では実施しています。特に私学関係者の参加につながります。(私立・事務職員)
- ・プレゼンの段取りやマイクの使用について改善を検討いただければと思います。(所属職種不明)

2 その他

本大会に参加されて率直な御感想を、お聞かせください。

○6月5日分

- ・センターのデータ分析ありがとうございました。大変勉強になりました。(国立・事務職員)
- ・新しい発見はなかったが、データ分析の意義はあると思う。(私立・事務職員)
- ・私大のセンター利用についてのさらなる掘り下げを期待します。(私立・事務職員)
- ・時間配分を質疑応答の時間を多めに&こまめに。(一方的なプレゼンのかんじがした。)(所属職種不明)

○6月6日分

- ・開始時間を早くして、又、昼休み時間ももう少し短くして終了時間を早くした方がよい。(国立・事務職員)
- ・ベネッセの山下さんの話が刺激的でした。来年は同業他社や予備校関係者も呼んで(例えば駿台と代ゼミと河合塾)分析を競っていただいたらよいと思います。(国立・教員)
- ・理・工・農学系と文科系の学生の特性差が大きいのもう少し細かく検討してもらいたい。また第2次産業就業者減少のもとでは、学生も将来を明るく考えられていない。(所属職種不明)
- ・この協議会の要旨をここで停まらせず、公の場、行政、政府に訴えるべき。特に統一テストの動向を見守るなんておかしい。発表だけの場にすべきではない。社会に還元してこそその研究(所属職種不明)
- ・初日のセミナーの話は、単なる集計結果をまとめたただけであり、参考にするのはむずかしい。セミナーとして成り立たせるには、どう参考したらいいかの提案までする必要がある。また、地元志向の説明のロジックはおかしい。(所属職種不明)

○6月7日分

- ・発表のテーマ数多い。時間配分短い。テーマの吟味。(公立・事務職員)
- ・15年ぶりに参加しました。参加も多く、セッションのテーマも豊富になったと思います。(国立・事務職員)
- ・率直なデータが多く、参考になりました。発表時間が延びて、討論時間がない発表が残念でした。(私立・教員)
- ・研究発表というよりも、業務改善のためのデータ収集・分析報告というものも見受けられました。(私立・事務職員)
- ・東京開催で固定してほしい。(国立・事務職員)